

空き店舗を活用し、高齢者等の交流・憩いの場を提供

榛原町商工会

機関名	榛原町商工会			
所在地	奈良県宇陀郡榛原町萩原160-1			
電話番号	0745-82-2211			
地域概要	(1)管内人口	1万9千人	(2)管内商店街数	6商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数	- 商店街	(2)会員数	32商店
	(3)空き店舗率	31%	(4)大型店空き店舗数	- 店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成14年度 活性化対策事業

商店街の空き店舗を活用し、高齢者と地域住民との交流の場・憩いの場を設置

総事業費

3,000千円

【事業実施内容】

1. 背景

榛原町の中心市街地は、榛原駅を中心として街の機能が集積する「街の顔」として長い間、重要な役割を果たしてきた。

しかし近年、モータリゼーションの進展により、近隣市町村などに大型商業施設が進出するにつれ、徐々に中心市街地から顧客が流出し始めた。同時に各個店の経営難や経営者の高齢化による後継者難も手伝って空き店舗も増加し始め、構造的な衰退が見られるようになってきた。

この間、大阪のベッドタウンとして、周辺地域に新たな住民も増加したが、これらの顧客を中心市街地に誘引できないまま現在に至っている。

一方、特に駅前地区は高齢者が多く居住する地区でもあることから、これらの人々に対応した店舗の埋め込みやバリアフリーへの配慮、生活関連施設などの整備を行っていくことが必要となってきた。

これらの状況を受け、駅前商店街振興協同組合が中心となって、高齢者等のコミュニティサロンとして「駅前ふれあいの館」事業に取り組むことになった。



2. 事業内容

(1) 「駅前ふれあいの館」事業

1) 開設の目的

高齢者の活躍・交流・憩いの場を基本理念として平成14年9月27日に開設した。開設の目的は、①地域に住む高齢者などのふれあいを高める空間の提供、②商店街に集客し滞留させるコミュニティサロン、③新たな店舗などを埋め込むチャレンジショップとして活用することを通じて商店街の賑わいを創出することである。

2) 施設概要

空き店舗2店舗分のスペースを利用している。

角地側のスペースは高齢者のふれあいや交流などを深める「宅老所」とし、事務スペース、キッチンを併設している。他方のスペースは催し会場や絵画や書道などの展示スペースとして活用している。

出来るだけ費用をかけないで改装するため、既存のフロントサッシュ、什器備品など活用できるものは再利用し、外装のテント、内装の床材やクロスは張替え、照明器具などは新設した。

3) 運営管理と実施事業

①運営管理

開館日時は毎週、日・月・木・金の4日間、午前10時～午後4時となっている。運営管理については、商店街の組合員やボランティアの人々などが一体となって、半日ずつローテーションを組んで担当している。なお、運営管理の責任者として館長を商店街の理事から選出した。

②実施事業

- ・ 講座の開講：介護講座、ペーパードール講座、ペーパーフラワー講座、健康相談、ちぎり絵講座、パソコン講座、お菓子作り講座、竹かご教室など
- ・ イベント：オープンイベント、クリスマスパーティ、歌謡ショー&カラオケ大会
- ・ 展示：福祉用具



ペーパードール講座の様子



観光ガイドボランティア講座の様子

平成15年3月6日(内) 宇 陀 の は な 352号 (4面)

高齢者の活躍・交流・憩いの場 **ふれあいの館** 《3月の催し案内》

日 時	内 容	参加者募集
7 金 13:00 ↓ 15:30	ペーパードール講座 講師 井 壽 陽 子 氏 森の小人 参加費無料	お申し込みは商工会へ！
12 水 13:00 ↓ 16:00	造花講座 講師 上 町 友 会 桃の花 葉の花 定員10名 材料費500円	
16 日 13:00 ↓ 14:30	歌謡講座 講師 リズム歌謡振興協会 岡 崎 栄 子 氏 定員10名	
17 月 13:30 ↓ 15:30	パソコン講座 講師 夢ネット榛原 前田留子氏 デジカメ使用	
19 水 11:00 ↓ 16:00	健康相談 血圧・体脂肪の測定・その他 (榛原町保健センター)	
21 金 13:00 ↓ 15:30	ペーパードール講座 講師 井 壽 陽 子 氏 森の小人 参加費無料	
23 日 13:00 ↓ 16:00	イベント 歌謡ショーとカラオケ大会 歌謡ショー 野々村あい (センチュリーレコード) カラオケ大会	

参加者募集
お申し込みは商工会へ！

イベント **歌謡ショーとカラオケ大会**
・日時 3月23日(日) 13:00~16:00
・歌謡ショー 野々村あい (センチュリーレコード)
・カラオケ大会 出場者(15名)は事前申し込み受付中
※ご近所、お友達お誘い合わせの上、多数ご来場ください。

事前申し込み受付中
○パソコン教室 ○福祉(介護)相談
○囲碁で遊ぼう — 常時基盤あります
(事前申し込みあれば指導もできます)

運営管理のお手伝い
ボランティアスタッフ
随時募集しています

開館日
毎週 日・月・水・金
午前10時~午後4時 (管轄ぜひお立ち寄り下さいお待ちしております)

榛原町商工会 申し込み先
問い合わせ先 ☎0745・82・2211 榛原町駅前商店街振興協同組合

(宇陀のはな)

「ふれあいの館」3月の催し案内広告

③来館者数

平成14年10月	216人 (1日平均19.6人)
平成14年11月	320人 (1日平均17.8人)
平成14年12月	205人 (1日平均12.8人)
平成15年1月	162人 (1日平均10.8人)
平成15年2月	234人 (1日平均14.6人)
平成15年3月	193人 (1日平均14.8人)

各月共に賑わいを見せており、特に催し物開催日には多くの方が来館している。

4) 来館者アンケートの結果

- ・来館者の居住地 榛原町居住者が9割以上を占める
- ・来館者の性別・年齢構成 女性が8割以上を占める。3/4以上が65歳以上の高齢者
- ・同居の実態 息子・娘家族との同居が半数近くある
- ・滞留時間・目的 1時間以内の滞留が半数を占める。ふれあいを求めている来館者が1/3以上を占める
- ・催し物への評価 福祉・健康相談、各種手づくり教室に人気がある
- ・来館した結果 4割強の人が人とのふれあいが出来たと回答
- ・今後の来館について ぜひ来たいとの回答が3割強、興味のある催しがあれば来たいとの回答が4割強になっている
- ・会館日・時間の希望 半数以上が日曜日の開館を希望。10時~16時の開館が妥当との回答
- ・今後の希望 続けて欲しい、楽しい催し物を希望 他

【効 果】

- (1) 「駅前ふれあいの館」には、1日平均15～20人の来館者があり、当初の予想をかなり上回って賑わっている。特に健康相談、各種手作り教室、クリスマスパーティや歌謡ショーなどの催し物開催日には、多くの来館者で賑わった。また、交代で運営管理している商店街の組合員と地域住民とのコミュニケーションの促進にも結びついた。
- (2) 来館者の多くは、地域に居住する高齢者であり、帰りに商店街で買い物をしている様子もうかがわれる。飲食店舗などへの顧客の増加が若干見られるようになった。
- (3) 運営にあたっては、商店街の組合員の協力はもとより、市民ボランティア、NPOなどの積極的な協力・支援が得られ、講座の企画・運営への参画にとどまらず自ら講師として指導するなど、地域全体での取り組みが見られた。

商業者と地域住民が一体となった「市民参加協働型まちづくり」であり、今後の商店街活性化に向けた新たな視点が開かれたといえる。

【課 題 ・ 反 省 点】

運営スタッフなどの「人」の確保および家賃など固定費の「資金」の確保が課題である。

これらの課題に対して「(仮称) 榛原TMO」が推進主体になって家賃の一部負担や運営管理への協力・支援を行う体制も整い始めてきている。しかし、それだけでは運営の継続が難しいため、今後は収益構造を高める戦略を取っていくことが必須となる。そのために、「宅老所」と研修室を分離し、研修室を積極的に活用して営利事業を促進していくことも視野に入れている。

さらに、平成14年度に中心的な役割を担ってきた商店街の組合員の継続協力や市民ボランティアの更なる協力を得ていくと同時に、新たな運営スタッフの掘り起こしとして、周辺商店街の商業者や女性部などへの協力を求めている。

また、中長期的には「駅前ふれあいの館」をNPO（非営利組織）に発展拡大させ、コミュニティ・ビジネス（社会性の高い企業）として継続していくことも検討していくべきとの認識を有している。

【教 訓】

当初は商店街組合員の協力があったが、平成15年度は一部の組合員の協力しか得られていない。商業者と地域住民が一体となって事業を推進していくことは困難である。今後は、行政の支援はもとより、TMO、各種市民団体やボランティアなどの協力・支援によって、地域が一体となって育て支えていくことが重要である。